

「千葉市史 史料編11 近代2」を刊行しました！
～大正時代から昭和戦中期の千葉市に関する史料を掲載～

郷土博物館では、本市の近現代の歩みを示す史料を集め、掲載する史料集の第2巻目として、大正時代から昭和戦中期までを対象とする「千葉市史 史料編11 近代2」を刊行しましたので、お知らせします。

1 書名

「千葉市史 史料編11 近代2」

2 本書の概要

「千葉市史 史料編」は、これまでの調査で収集した千葉市域に関係する歴史資料の中から、本市の歴史にとって特に重要な史料や、当時の地域の特徴を示す史料等を選んで翻刻し、掲載した史料集です。史料からは当時の市域の様子や人々の暮らしぶりなどを知ることができます。

今回の「千葉市史 史料編11 近代2」は全3巻の刊行を予定している史料編近現代の第2巻目となります。この巻は大正時代から昭和戦中期までを対象とし、関係する426点の史料を掲載しました。

3 本書の構成

- (1) 口絵
- (2) はじめに
- (3) 史料編
 - 第1編 大正デモクラシー下の千葉市域
 - 第2編 戦争の時代
 - 別編
- (4) 史料解説
- (5) 掲載史料の所蔵者・出典
- (6) おわりに

4 体裁

B5判・モノクロ（口絵カラー）・上製本
※これまでの史料編と同じ体裁です。

5 総ページ数

503ページ（口絵・序・凡例・目次等を除く）

6 刊行年月

令和6年3月

7 印刷部数

900部

※有償頒布のほか、市内小中学校、図書館、市政情報室などに配架

8 有償頒布

(1) 開始日

令和6年4月2日(火)

(2) 価格

3,000円/部

(3) 場所

ア 郷土博物館

イ 市政情報室(市役所低層棟2階)

9 今後の刊行予定

「千葉市史 史料編12 現代」(戦後～) 令和8年度刊行予定

<参考> これまでに刊行した市史関係書籍

刊行年月	書名
昭和49年3月	「千葉市史 原始古代中世編」通史編 ※残部なし
	「千葉市史 近世近代編」通史編 ※残部なし
	「千葉市史 現代編」通史編 ※残部なし
昭和51年3月	「千葉市史 史料編1 原始古代中世」 ※残部なし
昭和52年3月	「千葉市史 史料編2 近世」(佐倉藩領)千葉、千城地域
昭和55年3月	「千葉市史 史料編3 近世」(生実藩領)生浜、椎名地域
昭和58年3月	「千葉市史 史料編4 近世」(生実藩領)誉田、椎名地域
昭和59年3月	単行本「社寺よりみた千葉の歴史」
昭和61年3月	単行本「千葉市南部の歴史」
昭和62年3月	「千葉市史 史料編5 近世」(旗本戸田氏知行所)泉地域
昭和63年3月	「千葉市史 史料編6 近世」(幕領・旗本知行所)土気地域
平成元年3月	「千葉市史 史料編7 近世」(幕領・旗本知行所)中野他
平成5年3月	絵図地図集「絵にみる図でよむ千葉市図誌」上・下巻
平成9年3月	「千葉市史 史料編8 近世」(幕領・旗本知行所)犢橋稲毛他
平成10年3月	別巻「天保期の印旛沼堀割普請」
平成16年8月	「千葉市史 史料編9 近世」(幕領・旗本知行所)幕張柏井他
令和3年1月	「千葉市史 史料編10 近代1」(明治期)
令和4年3月	歴史読本「史料で学ぶ 千葉市の今むかし」

※上記のほか、昭和63年3月から年1回、研究雑誌「千葉いまむかし」を刊行。